

令和3年 10月 4日

## ワークショップについて

氏名 渡邊 彩

- 1 日 時 令和3年9月28日(火) 14:00~16:30
- 2 会 場 黒崎市民会館
- 3 参加者属性 (該当する所属を○で囲む)  
社会教育委員
- 4 意見交換を行った活動事例  
両事例
- 5 社会教育委員として、ワークショップを運営して感じたこと
  - ・地域教育コーディネーターさんと地域住民、学校が対等に話し合える場の必要性を感じました。
  - ・学校の教員が今回の会議に参加していなかったことを大変残念というか、今後への期待として感じています。学校にかかわりたい、子どもたちの学びの場についてともに考えたいという方々と学校での教育を担っている先生方とをどうつないでいくかが今後の課題であると感じました。学校向けにアンケートを取ってみるのはいかがでしょうか。
  - ・開催目的が漠然としている中でも参加者の方々の対話の基本的姿勢ができていたことに救われたと感じました。今後は、開催目的としてどのような場を目的としているのかをもう少し具体的にお伝えできるとよいかも感じました。
- 6 次世代育成につなげるための課題
  - ・上記
- 7 課題の解決策、ヒント
  - ・「学校の先生側もプログラムがパッケージになっていると受け取りやすいのかもしれない」「学校の管理職とまずはつながり、話し合える場が必要ではないか」というお話が出ていました。秋葉区の小合地区、あるいは新関地区ではコミュニティスクールと題せずにつなげる仕組みがつけられ、もしくはこれから作られようとしています。これらの事例から何がつなげるために必要なのか、何が鍵となるのかを検討することで道が開けていくかもしれません。
- 8 感想とお礼  
この度は貴重な学びの機会をいただき、誠にありがとうございました。  
職員の方々のご異動の事情についても初めて知ることができましたし、逆に、ファシリテーターではない他分野の方からすると、どのように構成していきたくなるのかの視点をいただき新鮮でした。何より、最後にみなさま方が最初よりも少し笑顔になられて次のお仕事に向かわれるような表情になっており嬉しく感じました。ご一緒にお仕事をさせていただきました嬉しかったです。ありがとうございました。